

関係各位

レンゴー株式会社
広報部広報課

丸三製紙株式会社の段ボール原紙製造設備竣工のお知らせ

レンゴー株式会社（本社：大阪市北区、会長兼社長：大坪 清）の連結子会社である丸三製紙株式会社（本社：福島県南相馬市、社長：三田 計）は、段ボール原紙(ライナ)生産設備の更新を進めておりましたが、昨日3月3日竣工式を執り行いましたのでお知らせいたします。

丸三製紙(株)は、当社グループの東北地区における段ボール原紙生産拠点として、従来、ライナ用6号抄紙機、中しん原紙用7号抄紙機の2台の抄紙機で月産約2万トンの段ボール原紙を生産していましたが、6号抄紙機は1973年の設置後40年超が経過し、老朽化とともに東日本大震災での被災もあり、新設備への更新が急務となっていました。

このたび竣工したライナ用8号新抄紙機は、環境面からニーズの高まる段ボール原紙の薄物化に対応するとともに、さらなる品質向上と、徹底した省エネ・省資源化が図られています。

今般新設備の竣工により、当社グループの東日本地域における段ボール原紙供給体制がさらに充実し、製紙・段ボールの一貫生産体制が強化されることとなります。

丸三製紙(株)は、当設備更新により今後とも立地する福島県南相馬市経済の一翼を担い、継続的な産業振興と雇用の場の安定確保を通じ、地域の復興、再生にも大きく貢献してまいります。



新8号抄紙機建屋外観



新8号抄紙機

丸三製紙株式会社の概要

本社所在地	福島県南相馬市原町区青葉町1丁目12番地1
代表者	三田 計 (みた はかる)
資本金	3億円
主要株主	レンゴー(株) (98.83%)
事業内容	板紙・特殊紙等の製造、加工、販売
売上高	130億円 (2014年3月期)
従業員数	207名

今般竣工新設備の概要

設備名	8号抄紙機 (既存の6号抄紙機はすでに停機しております)
生産品種	段ボール原紙 (ライナ)
最大生産量	日産500トン
設備投資総額	260億円

以上